資料１

パブリック・コメント手続の実施結果

Ⅰ　市民等からの意見の集計結果

１　パブリック・コメント手続の期間

平成 28 年４月 11 日（月）～平成 28 年５月２日（月）

２　提出者数と意見数

提出者数　３人　意見数　12 件

３　提出方法別の人数

提出方法	人　数
持ち込み	１人
郵送	０人
ファックス	０人
電子メール	２人
合　計	３人

４　項目別の意見数

項　目		件　数
第１章 計画の策定にあたって		
	１ 計画策定の背景	－
	２ 計画策定の目的	－
	３ 計画の組み立て	１件
第２章 観光立市の目指す姿		
	１ 観光立市の姿	１件
	２ 様々な主体の役割像	－
第３章 本市観光の現状等		
	１「観光力」からみた本市観光の現状	１件
	２「観光力」からみた本市観光の方向性	－
第４章 基本戦略		
	１ ６つの戦略	３件
	２ 施策体系	－
第５章 計画のマネジメント		
	１ 数値目標	２件
	２ 進行管理	－
その他		４件
合　計		12 件

Ⅱ　意見の概要と市の考え方

【第１章 計画の策定にあたって　３ 計画の組み立て】

No,	意見（概要）	件数	考え方（対応）
1	観光に対するニーズも多様化するため計画期間 10 年は長すぎる。 まず、浦賀奉行所開設 300 周年であり、東京オリンピックが開催される 2020 年度までとし、その後は３年を一区切りとして、期間ごとに明確な目標を立てた計画にするべき。	１件	基本計画については、毎年開催される観光振興推進委員会において、施策の評価と必要な見直しを実施し、観光志向の変化に柔軟に対応していきます。 また、基本計画の実行計画として、重点的に進める施策や具体的なターゲットを定めたアクションプランを５年の期間で策定し、実行性の高い計画としていきます。

【第２章 観光立市の目指す姿　１ 観光立市の姿】

No,	意見（概要）	件数	考え方（対応）
1	横須賀市基本計画で謳っている、めざすべき都市像「国際海の手文化都市」について「観光立市の目指す姿」のなかで触れるべき。	１件	横須賀市基本計画及び分野別計画は、横須賀市基本構想で掲げた、めざすべき都市像「国際海の手文化都市」の理念に基づき策定しています。 本計画の中では、めざすべき都市像について記載していませんが、計画を実行することが「国際海の手文化都市」の実現に通ずるものと考えています。

【第３章 本市観光の現状等　１ 「観光力」からみた本市観光の現状】

No,	意見（概要）	件数	考え方（対応）
1	P. 11「①素材の力」の大きな強みに「海岸」とあるが、なぜ「海」でなく「海岸」なのか。「セーリング」「サーフィン」「シーカヤック」「ダイビング」「遊漁船」など、海のレジャーが行われていることから「海」とするべき。	１件	本計画策定にあたって実施したアンケート調査の項目に合わせ「海岸」と記載していましたが、ご指摘のとおり「海」に修正いたします。

【第４章 基本戦略　１ ６つの戦略】

No,	意見（概要）	件数	考え方（対応）
1	施策の実施主体に「市民」「観光事業者」「観光関係団体」の役割（活動）を行っている「NPO等市民団体」を加えることを提案する。	１件	施策の実施主体につきましては、横須賀市観光立市推進条例に基づき記載しております。 NPO等市民団体は、設立の趣旨によりそれぞれの実施主体に属すると考えられるため、実施主体としては記載しませんが、様々な分野で活動していただきたいと考えています。
2	積極的に取り組まれてきたヴェルニー祭やペリー祭などを通じての横須賀製鉄所の歴史の評価、ヴェルニー公園にある博物館などで展示する横須賀製鉄所の資料が示す価値などが何故「隠れた地域資源」なのか。	１件	現在までに様々な横須賀製鉄所（造船所）に関する施策を行ってきましたが、本計画策定に際し実施したアンケート調査結果において、「近代化産業遺産」は観光のイメージとして定着していない現状がありましたので、「隠れた地域資源」としました。
3	基本戦略３「受入環境」充実戦略において「②観光客受け入れのための施設整備と快適性の向上」とあるが「施設・設備の整備と快適性の向上」とし、看板類の整備も進めるべき。	１件	ご指摘の看板類の設備整備については、基本戦略３「受入環境」充実戦略「④観光地のバリアフリー化の推進」における「看板・案内板の多言語化」の中で同時に進めていきたいと考えています。

【第５章 計画のマネジメント １ 数値目標】

No,	意見（概要）	件数	考え方（対応）
1	数値目標「観光客数 1,000万人」について、過去10年の実績（最低：660万人、最高：820万人）の事を考えると観光立市としては過少と考える。 この数値では産業構造の大転換は出来ないと考える。	１件	本計画を着実に実行し、観光事業者の誘致と並行して観光客数を順調に伸ばすことができれば、毎年開催される観光振興推進委員会の意見などを踏まえ、見直しを行っていきたいと考えています。
2	数値目標「観光客消費額636億円」について、「神奈川県入込観光客調査」及び横須賀統計「延べ観光客消費額」の消費額の推移を読むと2013年度が46億４千万円、2012年度が43億４千７百万円であるが、どの統計を参考にしたのか。	１件	神奈川県観光客消費動向等調査における、三浦半島（鎌倉地区以外）の日帰り客及び宿泊客の平均消費単価を、観光客数に乗じた額を観光客消費額としています。 【平成26年度数値】 日帰り： 4,190円×753万人 宿　泊：22,007円× 32万人 【平成37年度目標値】 日帰り： 5,316円×950万人 宿　泊：26,084円× 50万人 ※単価は５年間の平均値

【その他】

<table>
<tr><th>No,</th><th>意見（概要）</th><th>件数</th><th>考え方（対応）</th></tr>
<tr><td>1</td><td>序章などに「本市には豊かな自然や」とあるが P.12「①素材の力」をはじめ本文中に「豊かな自然」に相当する文言・文章が見当たらない。</td><td>1件</td><td rowspan="2">P.11「①素材の力」の大きな強みで「東西で異なる多様な自然」を掲げており、自然を地域資源の１つと捉えています。
P.16 基本戦略１「観光魅力」創出戦略①本市の顔となる地域資源の魅力の充実・強化において、「自然環境」に関する記載を加え、「豊かな自然」をより意識した計画としていきます。</td></tr>
<tr><td>2</td><td>横須賀市の環境像は「水とみどりにゆたかにふれあえる住みよいまち」であるが、豊かな自然環境（山、川、みどり）の記載がない。</td><td>1件</td></tr>
<tr><td>3</td><td>「地の利」と「三方を海に囲まれた自然」を活かして発展してきた当市だが、どうしてこの事を中心的な地域資源にせず、直近の観光実績に囚われた選択をしたのか。</td><td>1件</td><td>観光を産業の柱とするためには「海」などの自然に加えて「グルメ」や「アメリカの雰囲気」など直近で実績のある地域資源を含め、多くの素材を活用し、常に関心を集めていく必要があると考えています。</td></tr>
<tr><td>4</td><td>グローバル経済の時代に産業構造の大転換を観光によって行うのであれば年度表示は「西暦」にするべき。</td><td>1件</td><td>ご指摘のとおり年号の表示については、西暦と和暦を並列して標記します。</td></tr>
</table>